

鹿行教育事務所だより 第1号

令和8年4月22日(水)

2次元コードから鹿行教育事務所のホームページが見られます。



～ プラス1(いち) 積み重ね ～



「日々の小さな積み重ね」

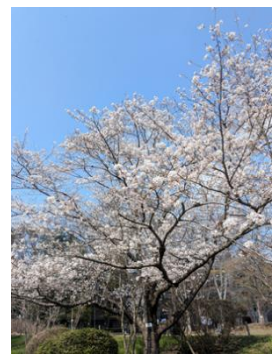
鹿行教育事務所長 植田 敏浩

鹿行教育事務所の植田敏浩と申します。今年度も、鹿行の教育のために誠心誠意努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。令和8年度のスタートにあたり、ごあいさつを申し上げます。

日頃より、子どもたちの学びと成長のために力を尽くして下さっている教職員の皆さんに、心より感謝いたします。新しい年度を迎え、学校にはまた新たな出会いがあると同時に、新たな挑戦が始まります。学校を取り巻く環境は変化し続けていますが、どんな状況であっても、子どもたちのために誠実に向き合う姿勢こそが、学校の原動力です。

その中で鹿行教育事務所が大切にしていることは、「+1」の姿勢です。昨日より今日、今日より明日、ほんの少しでも前に進む意識をもつこと。子どもたちへの声かけを+1、同僚への感謝を+1、自分自身の学びを+1など。その小さな一歩が、学校全体の大きな力につながると信じています。そして、もう一つ大切にしたいのが、「積み重ね」です。教育は、一度に劇的に変化が起こるものではありません。日々の授業、子どもたちとの対話、職員同士の支え合い、地域との関わりなど、その一つ一つの積み重ねが、子どもたちの未来に進むための力を育み、学校の信頼を築いていきます。教職員の皆さんがこれまで積み重ねてくださった経験と実践は、今年度も必ず子どもたちの力になっています。

鹿行教育事務所は、市教育委員会と連携し、管内の小・中学校が「安心して前進するためのサポートができる」教育事務所を目指したいと考えております。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。結びに、皆様のご健康と、各学校のさらなる充実、そして子どもたちの健やかな成長を祈念し、年度始めのごあいさつといたします。

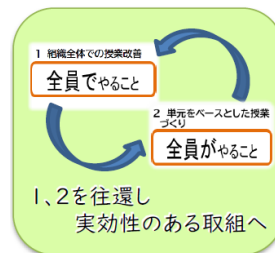


【令和8年度鹿行教育事務所の重点】

【学力向上の重点】

身に付ける資質・能力を児童生徒が自覚している授業
＜努力事項＞

- 組織全体での授業改善 **全員でやること**
- 単元をベースとした授業づくり **全員がやること**



【生徒指導の重点】

社会的資質・能力育成のための授業づくり・集団づくり
＜努力事項＞

- 生徒指導の実践上の4つの視点と**特別支援教育の視点**を踏まえた指導や支援の充実
- 教育相談体制の充実と**法令に基づく初期対応**の実践

【特別支援教育の重点】

一人一人の障害の状況等に応じた指導・支援の充実
＜努力事項＞

- 校内研修・校内支援委員会等の充実
- 学校生活全体の中での自立活動
- 分かりやすい授業等の推進



(参考)生徒指導提要
令和4年12月
文部科学省



【社会教育の重点】

コミュニティ・スクール、地域学校協働活動における質の向上と持続可能な協働体制の構築
＜努力事項＞

- コミュニティ・スクール、地域学校協働活動 (1)学校運営協議会 (2)「熟議」の質の向上 (3)連携・協働
- 家庭教育力の向上
- 郷土を愛する心の育成

インプット(知識・情報)
【実態把握】

アウトプット(実践・活用)
【地域・組織を動かす】

定着・継続
【広げる】